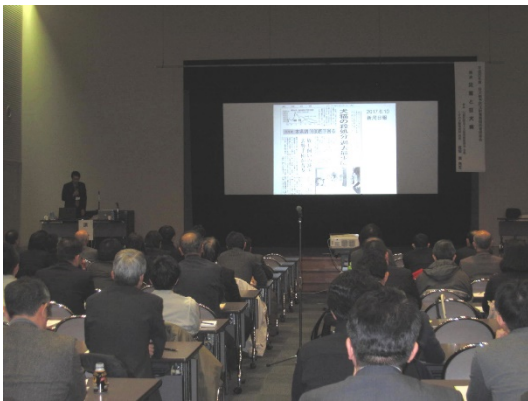


## ◇平成29年度狂犬病予防注射業務関係者研修会の開催

平成29年度狂犬病予防注射業務研修会が、11月16日新潟県自治会館で開催され、関係者が161名参加した。はじめに宮川保県獣会長、阿部健博様新潟県福祉保健部生活衛生課課長の挨拶に始まり、その後同課・動物愛護・衛生係副参事の遠山潤様の行政説明と大阪府獣医師会長佐伯潤様（くずのは動物病院院長）から「災害と狂犬病」という題で講演が行われた。行政説明では、動物の殺処分を減らす対策の一つとして猫の不妊去勢手術助成事業が報告された。また狂犬病に関しては平成28年度の各市町村、保健所ごとの接種率などが報告された。狂犬病発生時の対応指針も現在進行形で策定中とのことであった。後半の講習会では、佐伯先生から災害時に重要な人と動物との感染症の話がありその中で狂犬病に関して人と犬との感染経路や主要な症状などの説明があった。災害に関しては自然災害のみならず人為災害として戦争やテロなども含まれる旨の説明が新鮮であった。日本においては野生動物が保持する感染症への暴露、海外からのコンテナなどに迷入して上陸するかもしれない動物などの危険性が危惧されている。また国内で91日齢未満の犬での移行抗体を調べた報告があり216頭中8倍以上の抗体保有頭数が34頭と意外と少ないという結果であった。今後移行抗体のあるなしで幼齢犬には複数回の予防接種が必要なのではないかということであった。当然、法律上の問題もあり今後の調査研究に委ねなければならないと思われる。

最後の質疑応答には、狂犬病発生時対応指針に関してと猶予証明に関しての質問などがあげられた。最後に樺澤県獣副会長の閉会の挨拶で今年度の研修会が終了した。



行政説明 遠山潤 副参事



講演される 佐伯潤 先生